

Wide Information
お知らせワイド版

新型コロナワクチン接種に関するお知らせ

3回目接種

対象 新型コロナワクチンを2回接種した18歳以上のかた ※12～17歳のかたの3回目接種は現在、国で検討中です。

時期 接種できるのは、**2回目接種から6カ月を経過する日**以降です。
3回目接種の案内(接種券など)が届いたら予約できます。※2回目接種日は案内に記載しています。

個別接種 医療機関へ電話予約



集団接種 市ホームページか
コールセンターで予約



5～11歳の1・2回目接種

対象 5～11歳のお子さん

中等症や重症例の割合は少ないものの、感染者全体に占める小児(5～11歳)の割合が増えています。特に重症化リスクの高い基礎疾患を持つお子さんは、接種が勧められています。

5歳の誕生日の前日から接種は可能です。また、1回目を接種した時に11歳だったお子さんが、2回目の接種時まで12歳の誕生日を迎えた場合、2回目接種にも1回目と同じ小児用ワクチンを使用します。

ワクチンの種類 ファイザー社の小児用(5～11歳)ワクチン

※有効成分の量は12歳以上用のワクチンの3分の1です。

接種間隔 通常3週間の間隔を空けて、**2回接種**

他の予防接種との接種間隔

他の予防接種を、新型コロナワクチンと同時に同じお子さんに対して行わないでください。前後に他の予防接種を行う場合、原則として新型コロナワクチン接種と13日以上の間隔を空けてください。

ワクチン接種は強制ではなく、任意です

保護者は、ワクチン接種による発症予防効果などのメリットと副反応などのデメリットをご確認ください。その上でお子さんと話し合い、接種をするかしないかをご検討ください。かかりつけ医がいる場合は事前にご相談ください。

メリット	ワクチンを受けることで、新型コロナに感染しても症状が出にくくなります。5～11歳の2回目接種後7日以降の発症予防効果は、90.7%と報告されています(オミクロン株出現前のデータ)。
デメリット	ワクチンを受けた後、副反応(注射した箇所の赤み・腫れ・痛み、頭痛、筋肉痛、寒気、下痢、発熱、関節痛、嘔吐など)が出ることがあります。副反応の症状が出た人のうち、ほとんどが軽度または中等度であり、安全性に重大な懸念は認められていないと判断されています。海外では、ごくまれに子どもでの軽症の心筋炎を発症した例が報告されています。小児における、オミクロン株に対するワクチンの効果の科学的根拠は、必ずしも十分ではありません(新たな知見が得られ次第、速やかにお知らせします)。

令和4年3月14日時点の情報です。

長崎市ワクチン接種コールセンター

☎ 0120-095827 (通話無料 8:45～20:00 (土日祝日を含む))

市ホームページ



※お問い合わせが集中し、電話が掛かりにくい時があります。市ホームページで予約できるかたはそちらをご利用ください。